



岡保あつたか情報局

Vol. 2 2020年3月



2019 ワナビーカーフェ

目次

- 1P 巻頭言
- 2P 写真集 第1回 岡保の写真 大募集♪ テーマ「岡保大好き！岡保の景色」
- 7P 岡保地区団体紹介 vol.1 東山観光協会
- 8P 視察報告 株式会社福井和郷（高浜町） / 岡保無線放送協議会 有線から無線へ
- 9P 岡保人 中野 多郎右工門（花野谷町）
- 11P よろず相談はじめました / 行事予定 / 編集後記

巻頭言

岡保未来づくり協議会

副会長 **加畑 正和**



2018年 おかほふるさとまつりにて

岡保地区の皆さん、日ごろは岡保未来づくり協議会にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

岡保未来づくり協議会も発足から2年目を迎え、未来の岡保をどうデザインしていくか、話し合いを重ね多くの案が出てきているところです。すでに実行に移し目に視える形で活動している作戦会議もあります。

日本は人口減少社会を迎え、岡保地区も加速度的に人口減少・高齢化が進み、あらゆるところに影響が出てきています。町内の合併や壮年会・婦人会・老人会などこれまで町内ごとに役員を出し、地区の行事を中心的に担っていただいたことも徐々にできなくなってきています。役員の選出にも工夫が必要で喫緊の課題であり、今後協議を進めなければなりません。

岡保のまちづくりの基本は岡保が好きだというファンづくりだと思います。産業・コミュニティ・情報発信・居住地などの環境整備も重要ではありますが、何よりも人が集まり、楽しむことが特に大切なことだと思います。そのためにも楽しく人が集まるスペースを作らなければなりません。

もう一つ大切なことは、若い人、特に10代・20代がこの岡保未来づくりにかかわるかが、鍵となってきます。そのための企画も今後進めていきますので、若い人の参加を是非ともお願いします。

岡保公民館には20年ほど前に作られた未来の岡保を形にした模型があります。一度ご覧ください。夢を描いても必ず実現するとは限りませんが、夢を描きそれに近づけることは可能です。みんなで夢を描き、みんなで形になるものを作っていきましょう。

今後も、いろいろな集まりを企画していきますし、行事への参加呼びかけも行っていきますので、岡保のファンになっていただいて元気な地区にしていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

写真集 第1回 岡保の写真 大募集♪ テーマ「岡保大好き！岡保の景色」

昨年春から募集し、ふるさとまつりで展示した「岡保大好き！岡保の景色」。こんな景色あるんだ！きれいだなあ…と改めて気づいていただければとても嬉しいです。季節感や撮影された方の思いが伝わるのではないのでしょうか。令和2年度も実施したいと考えています。(ゆたまち会[*] スタッフ一同)



40 滝波ゆか 『庭に咲いたコスモス』
初めて種をまいたら綺麗に咲いて、秋の空といい感じに撮れました。



10 天谷弘之 『農業試験場の桜』



39 滝波ゆか 『近所の田んぼ』
夕暮れ時の田んぼ。田舎に住んでて良かったなーと思う瞬間です。



23 宮川卓也 『寮町南側から』



35 松井 富美恵 『あ〜、日が沈む』



1 青木和浩 『虹色…東山運動公園』
雨上がりの東山・・・家の外に出ると美しい虹がかかっていました。



2 青木和浩 『飛行機雲』
飛行機雲が田んぼに映って、本当に不思議で綺麗な景色でした。



36 天谷 久美代 『台風前日の夕焼け』
台風前日の夕焼けが怖いくらい鮮やかでした。



16 榎田結花 『私の好きな風景』
手前から、水田、レンゲ畑、奥の黄金色が大麦畑。



24 宮川卓也 『殿下天満神社』



26 青木和浩 『現場監督』
白い鳥がトラクターの周りを歩き回って指図をしている様でした。

11



12 錠詰幸恵『印田の公園で』
いつも元気いっぱい!!
おかぼの仲良しいつまでも。



6 服部歩未『かっこいい…(どっちが?)』
一気に刈り込む大型コンバイン。それを自在に
操るオペレーター。どっちもかっこいい!!



8 錠詰幸恵『いつもの散歩道』
犬も癒されるおかぼの風景。毎日の仕事あとの散歩は、
田んぼ景色を見ながら気持ちをリセットさせてくれます。



38 坂田裕幸『マイJogロード』
蛙の声を聞きながら、鈴虫の鳴き声を聞きながら、お月様や星空を見ながら、
そよそよとジョギングをしています。自然豊かな季節を思いっきり感じられる
岡保が大好き!



4 鈴木 肇『印田の新兵器』



30 松本 惇『小さな秋祭り』
約 10 年ぶりに町内の秋祭りに参加。幼き
頃とはまた違った雰囲気を実感すると同時
に、懐かしさと成長を感じたひと時だった。



32 藤井輝雄『収穫を待つ「里のほほえみ」』
稲作が一段落。次は転作が待っています。
約 4ha の大豆「里のほほえみ」は順調に生育しまし
たので、収穫が楽しみです。



27 泉 和弥 『東山山頂からの夕日』



7 小出隆稔 『春うらら こいちゃんパパのひなたぼっこ』
ある晴れた日に東山へ登ったらあまりに桜がきれいに咲いていたので、公民館でカメラを借りて撮影しました。



13 榎田結花 『菜おけ摘み』
先生とのやりとりがかわいく思え、思わず撮影してしまいました。



31 天谷 久美代 『東山頂上広場より』
東山トレッキング時に撮影しました。



18 瀧口衛元 『早く食べたいな〜』



17 瀧口衛元 『赤は幸せの色』



34 松井 富美恵 『そば だ〜いすき!』
おいしいおそばにな〜れ!と期待を込め、小学校・公民館をバックに撮りました。



5 牧野 寿枝子 『クリムゾンクローバー』
米の食味をよくするクリムゾンクローバー栽培。もう漉き込むということで急いで撮影しました。



37 青木 加寿子 『北の夕焼け空』
西の空はいつもの夕焼けでしたが、北の空は幻想的でした。



3 松井 富美恵 『五月の夕陽』
偶然出会った夕陽です。田の水面に水鏡のように映る様子がとても素敵でした。



29 若杉 由美子『岡の泉いつまでも』
美味しい水を幾年月と見守る神
に夕陽が・・・



25 泉 和弥『半助谷のお地藏様』



41 小出隆稔『岡の泉とくるりん藤』
なんともいえない藤のつるの曲がり
方がおもしろいのお。ほやの。



33 小出隆稔『初夏に咲く紫の花』
こんな風に群生するのは珍しい
ということで撮りました。



9 青木 加寿子『花野谷町の菜おけ畑』
菜おけ畑が満開と聞いて出かけました。
後ろに花野谷と宮地の山が見えます。



14 中野滝子『孫の田植え』
おじいちゃんのコンバインの後
は僕が角植えを手伝います。

南



20 中野 多郎右工門『花野谷川のいきもの』
花野谷川上流のごく限られた時期・場所に姿を現
す「サンショウウオ」です。



28 泉 和弥『青い空』



21 宮川卓也『蹄の滝』



22 中野 多郎右工門『福井の展望』
花野谷山林道から福井市街を望む。

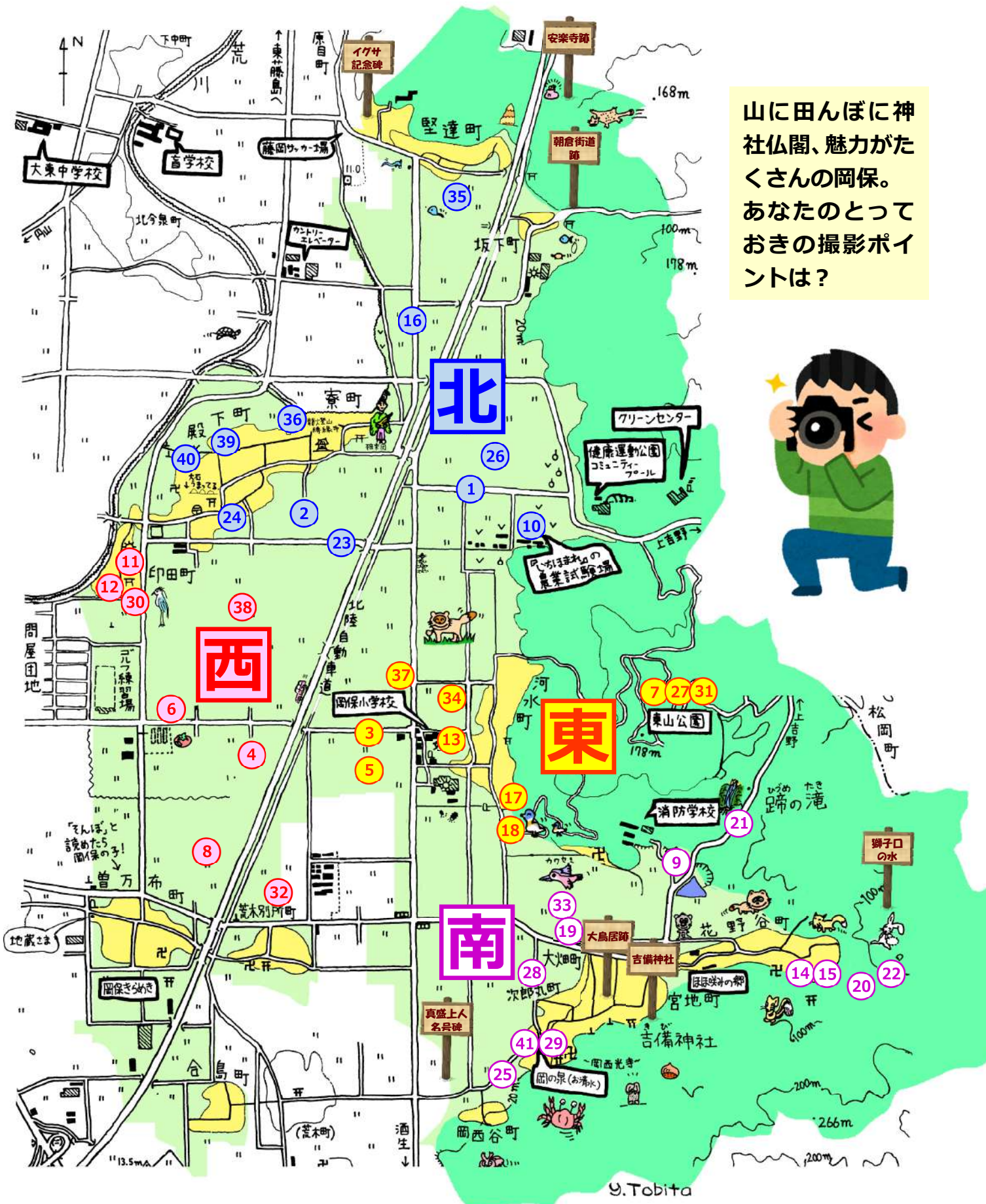


19 瀧口衛元『トラックよ、しっかり止ま
ろうネ』 大畑のキケンな三差路



15 中野滝子『マタタビの木』
田んぼの土手に、白いハンカチ
の様な葉っぱがきれいです。

すてきな写真の撮影場所はこちら



山に田んぼに神社仏閣、魅力がたくさんある岡保。あなたのおきの撮影ポイントは？



東山公園 お散歩MAP



東山観光協会

福井市河水町 10-13
岡保公民館内 〒918-8223
TEL/FAX 0776-54-2519

お散歩MAPできました！

「東山観光協会」は、東山復活！をめざし、活動しています。一昨年からは、有志のメンバーも増え、活動を本格化、東山公園の巡視・整備に加え、東山発信事業として写真展の開催等を行ってきました。

そして今回、東山をもっと身近に楽しんでもらえるようにと、『東山公園お散歩MAP』（左）を作成、岡保地区全戸に配布するとともに、関係各所に設置しました。

広げるとA3サイズの東山のMAPには、ルートや駐車場、休憩所、トイレなどの案内もあり、全体が分かるようになっています。4つある広場には名前がつけられ、展望台・散歩道とともに、説明のほか写真も添えられ、イメージが膨らみます。

この地図をもって東山に行きましょう！



東山復活！プロジェクト始動 2019.11.12

「行きたい東山！楽しめる東山！」をよみがえらせるために、整備にも力を入れています。

『クリーンアップ大作戦』では各自治会からの応援の方々とともに展望台付近の雑木伐採・草刈りを行っています。そして昨年11月には『東山復活！プロジェクト』を開始、東山を愛するボランティアを募り、もみじの広場や四阿周りの雑木伐採・草刈りを行いました。これから年2回開催していく予定。今大注目の「東山観光協会」です。



こんなに
きれいに！



～岡保アグリパーク準備委員会から～

(株)福井和郷(高浜町)を視察しました



1月25日、岡保アグリパーク準備委員会の有志8名で、高浜町にある株式会社福井和郷を視察しました。レタスを毎日1トン出荷する植物工場と、36000㎡のトマト栽培ハウスを見学。敷地内にはフリーズドライの加工場もあるのですが、休日に無人となるため加工場は視察できませんでした。この会社では、正社員20名とパートさん約100名を雇用しており、年間売上は約6億円。試食したトマトは、野菜くささが全くなくてすごく甘かったです。

親会社である農事組合法人和郷園は、平成3年の創業。千葉県の数軒の野菜農家が集まって、長いゴボウを運びやすい長さに加工するところから始まったビジネスだそうです。それが、今ではグループ会社を合わせると50億円を超えるまでに成長。販路の開拓とアイデア&実行力で、ここまで大きくなれるんですね。

福井和郷は設立5年目で、3年計画で設備を作ってきたとのこと。福井和郷単体でみると経営的にはまだまだとのことでしたが、全施設が稼働する来年以降は黒字化を目指しますと、説明していただいた福井和郷の鈴木さんは目を輝かせていました。

ここは安い電気料を武器にしていますが、岡保アグリパークでもクリーンセンターの熱源をどのように利用できるか、6次化のビジネス展開をしっかりと見据えて実現化を図っていきます。



有線から無線へ～ 3月3日いよいよ開局 ますます有益なホットラインとして

岡保無線放送協議会

岡保地区民のホットラインとして長きにわたり利用されてきた有線放送ですが、3月3日から無線放送に切り替わりました。

これまでの有線放送施設は、昭和39年ごろに開局したとかで約55年の長きにわたって利用されてきました。小学校児童の下校案内や地区体育祭等をはじめとしたイベント情報、不審者やクマ出没といった緊急情報、岡保コミュニティバスの“発車オーライ”もマイクからさわやかに流れてきました。無線放送協議会は、これまでの有線放送評議会の財産を引き継ぐかたちで運営させていただきます。このため、年間の利用額（現在、年間一戸当たり3,000円）も、住民の負担ができるだけ少なくてすむよう抑えさせていただく予定です。

長年の歴史ある有線放送同様、岡保地区民にとって有益な無線放送となることを願っています。



公民館の無線放送親機



岡保人

中野 多郎右工門 さん（花野谷町）

【略歴】

S45年に福井県警察官を拝命、H18年に刑事部長に就任、長年勤められ、H20年に退官。同年から金井学園常務となり、この間「日本国憲法」など学生に講義を行う。H25年に退職、H27年4月から岡保公民館館長に就任。

現在、岡保地域交通検討協議会長も務めている。

岡保公民館館長 中野 多郎右工門さんにお話を伺いました。

好川：公民館館長に就任して、岡保に何を思われましたか。

中野：「天（自然、大地以外のすべて）・地（自然、大地）・人すべてよし」

住むには最適な所と感じる。世界、国内を廻って岡保が一番いいと思った。

館長の仕事は、楽しいことがいっぱいあり、楽しませてもらっている。

好川：お仕事（警察官時代）のエピソードをお聞かせください。

中野：38年間の勤務期間中の凶悪事件はほとんど解決している。多い時には1年間に6件の凶悪事件を担当していたこともある。中でもタイの警察と協力して殺人事件を解決したことが、一番心に残っているかな。外国では、日本の警察官は一般市民なので警察官としての仕事はできない。それでこちらの要望を伝えて動いてもらった。言葉や法律、記録書の書き方等が違うので、大変苦労をしたことを覚えている。

また、ロスアンゼルス市警察の刑事と連携して捜査したこともある。

好川：岡保あったか情報局 FacebookにもUPされていますが、杜若（かきつばた）プロジェクト・里山事業についてお聞きします。

中野：杜若プロジェクトの方は、3年前県農業試験場の方からオファーがあって、山間地の耕作放棄地の活用方法として、水があり、環境的にも合っている杜若を育てることになった。町内のメンバーで100haの休耕田を開墾・しろかきをして四季咲きの苗を植えた。杜若は花材としての需要もあるので、収入が見込めるし、花が咲けば人も集まる。うまくいけばいいと思っている。

里山の方は、国・県・市の補助金を活用して、多面的に山を綺麗にしていくことに取り組んでいる。一つは「花野谷町森林保全活用協議会」を立ち上げて、竹林・雑木の伐採整備、資源活用（しいたけの原木作り）を行っている。教育プログラムとして子ども達の里山体験でしいたけの菌打ちやまき割りなども行っている。あと一つは福井県のコミュニティ林業事業で間伐材搬出用の道作り。花野谷から宮地・大畑・次郎丸・岡西谷まで整備される予定だ。

好川：趣味の古武道についてと南国フルーツのことをお聞きします。

中野：高校生の時は野球、大学の時は格闘技、特に柔道をやってきて、47歳の時にニューヨークから来ていた英会話の講師に頼まれ古武道の先生を紹介、通訳を兼ねて自分も始めたら魅了されてしまった。「古武道精神文化」は日本独特の文化だと思う。それに興味を感じている。フルーツのことは、東京勤務の時にチリの刑事と出会いチェリモヤという果物をもらって、あまりにも美味しかったので、種をアパートのプランターで育て始めたのがきっかけ。今は、チェリモヤのほかにドラゴンフルーツとパイナップルも温室で育てている。結構経費が掛かるよ。クリーンセンターの余熱を使ったら日本では希少価値のある南国フルーツを育てることが出来るのではと思う。

好川：これからの岡保についてお聞きします。

中野：「動中在静、静中在動」動きの中に静かさが在り、静かさの中に動きが在るの意味ですが、変えるべきところは変え、良い所は残す、そんな風になっていけばよいと思う。外の世界を見てくれば、岡保の良さがわかると思う。「岡保で暮らしていても、世界規模の仕事・活動はできる」ってこと。

好川：最後に今感謝を伝えたい方はどなたですか。

中野：警察官時代は、ほとんど地区に出ていなかったもので、地域との連携を取ってくれた奥さんに、そして花野谷という所に住んで導いてくれた先祖にですね。



☆インタビューを終えて

楽しくお話をお聞きしました。岡保が本当にお好きだなと思いました。そして里山の話の中で、豊富な水を使ってのわさびやクレソンの話も出ました。将来山すそにこれらの畑が広がっているかもしれませんね。

好川 普美（次郎丸町）

よろず相談はじめました

農業一般、主に稲作に関して何かお悩みありませんか？
悩みに関して、岡保在住の前川雅彦さんが悩みにお答え致します。
ご相談のある方は、岡保公民館にお問い合わせ下さい。

(TEL 0776-54-2519)

たとえば・・・

Q 美味しいお米を作るためにはどうしたらよいですか？

A お米の美味しさはお米に含まれるタンパク質の量と関係があります。お米のタンパク質含有量が少ないほど美味しく感じる事が知られています。例えば、肥料を入れないで栽培したお米は美味しくなります。肥料を入れないで作るということは収量の関係で難しいので、チッソ施肥量を少なくすることで美味しいお米を作ることができます。



前川 雅彦 (荒木別所町)

【プロフィール】

(元) 岡山大学資源植物科学
研究所 教授
専門 イネの遺伝・育種学
現在、農業に従事

行事予定

5月10日(日)	岡保を知ろう会 曾万布探訪
5月24日(日)	岡保地区体育祭
6月14日(日)	追悼会
6月28日(日)	防災訓練
7月18日(土)	サマーフェスタ
8月30日(日)	クリーンアップ大作戦

編集後記



今回の広報誌では、岡保未来づくり協議会における各作戦会議の活動報告や、視察、勉強会などの状況、また第二作戦会議が応募した、岡保の良い場所、美しい光景など掲載してあります。

今後、皆様が岡保の将来についてのご感想やご意見等がありましたら、各作戦会議に参加して話し合いをしてみませんか。会議の日程は岡保公民館ホームページで確認できます。

住民広報作戦会議 代表 前川 晃一郎 (荒木別所町)

岡保あったか情報局
新企画 第1弾 Facebook

配信内容
・ 岡保のあったかい情報
・ 地区イベントの告知/報告
・ 地区各団体からのお知らせ
・ 公民館からの配布案内 等々

Facebookのアカウントがなくても、閲覧できます。
【いいね!】をしていただくと、タイムラインへ情報をお届けします。
<https://www.facebook.com/okzbasj/>

岡保あったか情報局
新企画 第2弾 LINE@

配信内容
・ 岡保のあったかい情報
・ 地区イベントの告知/報告
・ 地区各団体からのお知らせ 等々

【友達を追加】をしていただくと、メッセージをお届けします。イベントの報告などは、タイムラインで閲覧いただけます。
<http://line.me/t/uj/p/%40kyv8458v>